

第4章 日高の祭り

原田 峻史

4.1 祭りの概要

4.1.1 祭りとは

祭りとは、感謝や祈り、慰霊のために神仏および祖先をまつる行為（儀式）である。供物そのものが捧げられている。

「まつり」という言葉は「祀る」の名詞形で、本来は神を祀ること、またはその儀式を指すものである。この意味では、個人がそういった儀式に参加することも「まつり」であり、現在でも地鎮祭、祈願祭などの祭りがそれにあたる。日本は古代において、祭祀を司る者と政治を司る者が一致した祭政一致の体制であったため、

政治のことを「^{まつりごと}政」とも呼ぶ。また、祭祀の際には、神霊に対して供物や行為等、様々なものが奉げられ、儀式が行われる。その規模が大きく、地域を挙げて行われているような行事の全体を指して「祭り」と呼ぶこともある。しかし宗教への関心の薄れなどから、祭祀に伴う賑やかな行事の方のみについて「祭り」と認識される場合もあり、元から祭祀と関係なく行われる賑やかな催事、イベントについて「祭り」と称されることもある。

図 4-1 日本三大祭り『祇園祭』



出所：京都観光情報 HP

4.1.2 “祭り”と“イベント”の差異

祭りとイベント、外見的にはよく似たようなものにみえるが、概念的にはまったく違う。祭りとは、参加者の観点からみた「主観的な」もの、イベントとは、企画者からみた「客観的なもの」という違いがある。イベントであって祭りでないといわれるものに、最近の行政主導の「まつり」がある。住民に連帯感を持たせるとか、大勢の観光誘致をしたいとか、商品や会社イメージなどをアピールしたいといった主催者側の目的というものがある。こうした行政主導の「まつり」に、本当の祭りではないといわれる理由は、「集団の中での自己のアイデンティティの確認」をさせるという祭りの目的が満たされていないところからきているようだ。

商品の宣伝や観光だけが目的のイベントならともかく、住民に連帯感やふるさと意識をもたらすのが目的のイベントの場合、きちんと「祭り」になるのか「イベント」で終わってしまうか、これはひとえに祭りの参加者の視点に立って考えることが重要になる。

4.2 祭りの歴史

4.2.1 神話時代の祭り

“太陽神であるアマテラスが弟であるスサノオの傍若無人な振る舞いに怒り、天の岩戸の中に隠れ引きこもってしまった。太陽神である彼女が隠れてしまったため国中から光が消えてしまい、これに困った八百万の神々はなんとか彼女に出てきてもらおうと様々な策をこらしたが彼女は出てこない。そこでアメノウズメという女神が自らの裸をさらけ出すほどに激しく舞を踊ったところ、他の神々は大いに笑い盛り上がった。すると気になったアマテラスが顔を出し、世界には再び光が戻った。”

このエピソードの中で神々がアマテラスに岩戸から出てきてもらうために行った宴は、人間たちが神様をもてなすためにしている祭りの形式そのものである。祭りとは神様を自分たちのところに呼ぶためのもの、そういった意味ではこの神話は日本の祭りの「原型」であるといえる。

4.2.2 庶民に広まっていった祭り

農民たちの願いや民間信仰のために行われるもの、祭政一致の古代社会において宮中に祖先の霊を呼ぶ起こしご神託を得るための^{まつりごと}「政」として行われたもの、日本各地ではさまざまな形態の祭りが古代より行われてきた。6世紀以降は仏教伝来、神仏習合を経て神社が神様だけでなく仏様も祀るもの、という在り方になるとともに、祭りもたくさんの意味をもつようになった。

4.2.3 神仏分離を経て

長い間、神仏集合にもとづいて祭りは行われてきたが、明治維新とともに政府より発せられた「神仏分離令」によって歴史は大きく変わることとなった。

祭政一致社会を目指し、神道のみを国民の精神的要とする「国家神道」を掲げた政府は仏教と神道を切り離したばかりか、「廃仏毀釈」という徹底した仏教の撤廃を行った。単に神社から仏像を破壊したばかりでなく、仏と関係の深かった祭神の強制的な変更や追放、寺社の領地押収による廃寺化、仏教行事の禁止など、日本からありとあらゆる仏教的要素が消えていった。また、天皇との関係が深い順に神社の位が定められた「社格制度」や複数の神社を統廃合させる「神社合祀」により、仏教行事に由来した催事はもちろん、神仏両方を祀っていたものが消滅してしまった。

4.2.4 現在の祭り

神仏両方の行事が親しまれるようになり、お寺や神社の催事には宗派に関係なく多くの人が集まり盛り上がる一方で、祭りそのものが単なる大衆の「イベント」と化してしまっている、祭りの継承者がいなくなっているなどの問題点もある。それでも、伝統的な祭りに

なると県外から大勢のお客さんが訪れ、地元の楽しみだけでなく観光アピールとして、新たな意味をもつようになっている。このため、町おこし土地のアピールを目的とした新しい祭り・フェスティバルが各地で行われているのである。

4.3 日高地方における祭り

日高地方においては、主に夏に行われる祭りが多く存在し、地元の住民を中心に多くの人々がそれぞれの祭りにおいて盛大に盛り上がる。特に日高地方においては馬の育成が有名な地であることから、馬に関する祭りも多く存在している。その他では地元の特産品を味わうことや、ユニークな競技種目などを体験することができる。

表 4-1 日高地方の祭り一覧

名称(開催月)	内容	画像
みついし蓬菜山祭り (7月上旬)	雄蓬菜と雌蓬菜という2つの岩山を結ぶ日本一大きな「しめ縄」が有名な地で開催される祭りである。例年ステージでは、よさこいソーラン踊りや、歌謡ショーが開催され祭りを盛り上げる。特産の「みついし牛」など地元の味覚も味わえる。	
ひだか樹魂祭り (7月上旬)	日高山脈に住むという伝説の竜を守護神として、森の木々に感謝を捧げる祭りであり、特産品を集めた「うまいもの市」、「流送レース」や「花火大会」などが行われる。	
幌尻祭り (7月下旬)	地元の「幌尻太鼓」で幕を開ける祭りでは、びらとり和牛が味わえるほか、ヤマベのつかみ取りや、雪を積み上げて高さを競うなどユニークなイベント、ステージショーや餅まきなども行われる。	

アポイの火祭り (8月上旬)	ビアガーデンや町内の自治体制作のねぶたパレード、地域のサークルなどによるバンドやダンスステージ、有名歌手をゲストに迎えた歌謡ステージショーなどが開催される。	
チプサンケ (8月下旬)	アイヌ語でチプサンケとは「舟おろし」を意味し、古来より伝わる技法で作られた船の進水の儀式である。沙流川で行われる伝統行事で、アイヌの人々の生活習慣がしのばれる行事である。	
平取沙流川祭り (9月)	平取町最大の祭りで、二風谷ファミリーランドを会場に行われる。平取町の特産品である「びらとり和牛」や、「トマト」を活かした町最大のイベントである。	
門別シシャモ祭り (10月)	沙流川を遡上する旬のシシャモを味わえるイベントであり、生シシャモのつかみ取りやすだれ干しはや作り大会などのイベントが開催される。	
COLD HIDAKA (1月)	極寒地域ならではの特性を十分に活かし、主体的に極寒を楽しむ人々が集まり、町内外の人で開催される祭りである。「タオル大回転」や「極寒トライアスロン」など、全10種類の競技を楽しむことができる。	

出所：いぶり・日高の観光情報、イベント情報より筆者作成

4.4 馬と祭り

4.4.1 騎馬参拝

日高において馬産地ならではの「馬の祭り」がある。浦河町の浦河神社では、毎年1月2日に新年恒例の「騎馬参拝」が行われている。騎馬参拝は、1910年、浦河町西舎に国営の日高種馬牧場（旧農林水産省日高種畜牧場）が開設されて以来続けられている、人馬の無病息災を祈願する馬産地浦河の伝統的な行事となっている。しかし、2010年より前年までのコースを短縮し、はじめにJRA日高育成牧場乗馬庁舎より出発し、その先7kmにあたる「西舎神社」に到着した後に、各参拝者は騎乗した状態で「二礼二拍一礼」を行う。「石段登り」は現在姿を消したものの、各参拝者からの期待の声が高まっている。

図 4-2 騎馬参拝の様子



出所：浦河神社騎馬参拝

4.4.2 町民乗馬大会

JRA日高育成牧場を会場に、部班・ジムカーナなどの初心者競技から、高さ110m程度の障害飛越競技などの上級者競技を行っている。町内で乗馬活動を行っているポニー少年団・浦河高校馬術部・JRA日高育成場・浦河乗馬クラブ他乗馬公園で活動している団体員が一同に集まり日頃の練習の成果を発揮する。

図 4-3 町民乗馬大会の様子



出所：浦河町 HP

4.4.3 平取町初午祭り

初午祭りとは、源義経公が騎馬武者として馬を大事にしたいという言い伝えに由来し、更に、初午の日に祈願をすれば願いが叶うと言われていることから1973年頃より斉行されている伝統行事である。神馬に跨った行事者と共に参列者約200人が境内を参進し、その後、社殿内で愛馬の息災と危難防除、先勝を祈願した。また、放たれた矢を拾った人には幸運が訪れるという矢刺しの神事であり、行事者は毎年男が務める。

図 4-4 初午祭りの様子



出所：馬産地ニュース

参照 HP

- ・ いぶり・ひだかの観光情報

http://www.mr.hkd.mlit.go.jp/kanko/kan_event.html

- ・ 浦河町ウェブサイト

<https://www.town.urakawa.hokkaido.jp/sports-culture/sports/event/kibasanpai.html>

- ・ 思わず教えたくなる日高の 77

<http://www.hidaka.pref.hokkaido.lg.jp/ts/tss/hidaka77.htm>

- ・ 全国観るなび

<http://www.nihon-kankou.or.jp/detail/01606ba2210144341>

- ・ 日本の祭りホームメイト・リサーチ

http://www.homemate-research-festival.com/useful/12704_tour_007/

- ・ 祭りとイベントの違い

<http://www.omatsuri.com/lib01/11.html>

- ・ 浦川神社騎馬参拝

<http://www16.plala.or.jp/FUKAFUKA/kibasanpai.htm>

- ・ みついし蓬菜祭り

<http://www.nihon-kankou.or.jp/detail/01606ba2210144341>

- ・ 沙流川祭り

<http://biratori7.webnode.jp/>

- ・ イベント情報

<http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/kanko/event.html>